

いつも、インシデント報告ありがとうございます

2022.11.24

京大病院医療安全情報136

【氏名検索における患者誤認】

患者誤認してしまうことは誰でもありえます。皆さんに、どんな場面で起きているのかをお伝えします。

事例1. 救急外来事務が誤認した事例

患者到着後の確認が不十分なまま、看護師からの事前情報をもとに氏名検索し受付した。その後、患者誤認が発覚。



なんで？



事例2. 医師が誤認した事例

救急外来で研修医がカルテの氏名検索を行うと同姓同名の患者が1名しか該当せず、そのカルテで診療を開始。検査実施後に患者誤認が発覚（生年月まで同じ別患者と誤認）。

事例3. 医師が誤認した事例

他病院から当院初診患者の転院依頼あり、患者搬送前にカルテが作成されたことを知った。氏名検索を行い、名前と年齢からカルテを開いた。診療記録の記載が全くなかったため、当該患者と思い診療を開始。X線検査など検査実施後に患者誤認が発覚。

事例4. 医師が誤認し、診療放射線技師も見抜けなかった事例

リストバンドで患者名を確認し一般撮影を実施。その後、救急外来から他患者と間違えオーダーしたと連絡が入った。医師が氏名検索し別患者と誤認していた。

※ 全て今年度に発生しています

インシデント報告に基づいた対策です

京大病院医療安全情報136

今までの事例を振り返って、対策を紹介します。

患者ID	氏名	カナ	生年月日	年齢
00000100	テスト京大 太郎	ヲクトウキョウダイ タロウ	S23-08-10	74
00000157	京大 太郎	キョウダイ タロウ	S53-10-01	44
73465017	京大 太郎	キョウダイ タロウ	H16-04-18	18
98215013	京大 太郎	キョウダイ タロウ	H10-12-31	23

氏名検索機能のリスク

事例1と事例4
が該当します

- 氏名検索で1人しか出てこなかった場合、該当患者であると勘違いする事例が続いています（初診患者の場合は検索結果に名前がありません）。
- 同姓同名（カナ検索）の方は多くいます。
- 患者到着前の患者情報は口頭のため、言い間違い、聞き間違いの可能性がります。

救急外来では、必ず事務受付後の一覧から患者を選択する！

事務受付後の一覧 ①
「救急患者一覧/マップ」

事務受付後の一覧 ②
「救急外来一覧」

やむをえず氏名検索でカルテを開く場合は「生年月日」もしくは「ID番号」を加えた2点認証で患者を同定し、カルテを開きます。

国際標準である、
2点認証に
取り組みます！



※ 放射線部での取り組み開始のお知らせ

夜間・休日における救急外来からの
検査対応時は「氏名」と「生年月日」
の2点を確認します。

【作成元】

初期診療・救急科医師、救急外来看護師
放射線部、医療安全管理室